工業つ子

No.255
—発行日—
2025.03.01
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

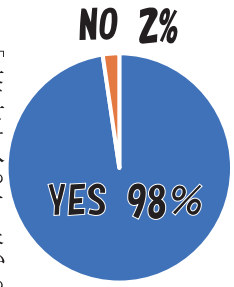
「赤」に象徴される「熱い」高校生活
～入学してよかった98％～
R6卒業アンケート号

毎年恒例 三年生アンケート

三年生のみなさんもとうとう旅立ちの時がやってきました。そこでみなさんにとってこの三年間がどのようなものだったのか…。先日行ったアンケートの結果とともに思い出してみてください！

回答率 八十七％

Q1長工に入学してよかったと思いますか。



▲Q１のグラフ

「長工に入って良かった」と答えた人は何と九十八％！理由としては「資格取得ができるから」や「専門教科の勉強ができたから」など、工業高校ならではの理由が多かったです。他にも「家が近いから」や「友だちに恵まれたから」などの理由もありました。

Q2高校生活で一番楽しかった行事は？

一位　修学旅行
二位　体育祭
三位　競技大会

一位は今年も修学旅行でした。百二十票も集め圧倒的の一位となりました。

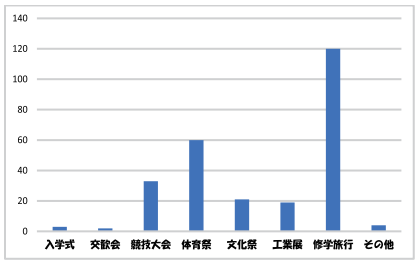
多くの人が初めて経験したスキーやスノボが楽しかったと感じたようです。また二位と三位を見てみると、どちらも体育関係の行事。今年の三年生は身体を動かすことが好きな人が多いのかなと思いました。

▲修学旅行でのスキー
◀体育祭の選手宣誓

Q3高校生活を色で表すとしたら何ですか。

一位　赤
二位　黄色
三位　青

▼Q２のグラフ



やはり一位は三年生の学年カラーである赤色！理由は「学年カラーだから」や「熱い高校生活だったから」などが多かったです。学科のカラーを選んでいる生徒もたくさんいました。

また、「ティファニーブルー」や「薔薇色」など、個性的な色で回答している生徒もいて、印象に残りました。

Q4高校生活で大変だったことは何ですか。

「資格勉強」
「部活動」
「勉強」

さまざまな回答がありましたが、特にこの三つの回答が多かったです。やはり工業高校ならではの資格勉強を大変だと感じた人が多いようです。他にも勉強と部活の両立が大変だった。という意見も見られました。

▲高総体開会式で披露したマーチング

Q5後輩にメッセージをお願いします。

「頑張れ」
「何事も計画的に」
「とりあえず勉強はしてください」
「高校生活全力で楽しもう！」

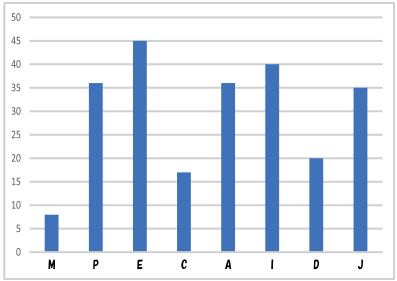
たくさんのアドバイスやエールを頂きました。一番多かったのは「頑張れ」という言葉。シンプルかつ率直な言葉で背中を押してくれます。他にも「就職希望は早めに決めておけ」など経験によるアドバイスをしてくれている人も居ました。先輩たちの言葉を心において学校生活していきたいと思います。

▶壮行式での全力校歌

Q6もう一度長工に入学するとしたらどの学科にしますか。

一位　電気科
二位　インテリア科
三位　機械システム科
建築科

▼Q6のグラフ



毎年恒例のこの質問。一位はなんと今年で三年連続になる電気科です。楽しそうだと感じる生徒が多くいました。

インテリア科も昨年に次いでの二年連続二位という結果となりました。

三位は機械システム科と建築科でまさかの同率三位となりました。過去の新聞を見ても同率というのは初めてのことで私たちも驚いています。

▼三年生の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございました。工業つ子アンケートの結果は次号掲載予定です。

裏面は…三年担任の先生インタビュー

課題研究はおもしろい

課題研究は授業・実習で学んだことなどを応用して約半年かけて作品を作り上げます。作品完成後はレポート、発表会用資料の作成などやるべきことは多くあります。

私は課題研究を通して新しいものに触れる楽しさ、チームでひとつの目標に向かって取り組む面白さなどを学び、実りある一年になりました。なかでも最も学んだことは班員との意思疎通の大切さです。

私は課題研究で、Raspberry piを用いた顔認証システムによる自動ドアを製作しました。Raspberry piと呼ばれるハガキよりも小さい基盤の小型コンピュータにカメラを接続して顔認証をさせ、ドアとつなげて動作させるものです。顔認証システム担当と自動ドア担当に分かれて作成に取り掛かり、進捗状況を確認し合い、やるべきことの優先順位を決めたりすることで、作業がスムーズに進めやすくなりました。

顔認証システムの作成では、はじめはなかなか思うように動かすことができずにとても苦労しました。もっとも難しかったのがドアとRaspberry Piを接続。無事、接続できて完成したときにはこれまでで一番の喜びを感じました。

三年間の集大成としての課題研究。ここで学ぶことができた課題に向けて取り組む力、チームワークは今後の生活に生かしていけるものです。長工では課題研究で主におこなったプログラミングだけでなく、電気やハードウェアなど多くのことを勉強することができました。入学前はプログラミングにしか興味がありませんでしたが、いざその他の授業を受けてみると、とてもおもしろく学んでみないとわからない魅力があると感じました。

課題研究ではプレゼンも学べます。人に伝えたいことを思い通りに伝えることは難しいものです。伝える力を鍛えたい人はぜひ新聞部へ。

後輩のみなさんたのしい課題研究にできるよう、まずは作ってみたいものを見つけてみましょう。

（青野）

今日の一枚

今回の今日の一枚は私の誕生日ケーキです。二月で十八歳になりました。

気付いた方もいると思いますが、私、四回連続でこのコーナーを書いています。新聞部みんな忙しそうなのでご了承ください。当たり前ですがネタ切れになったので顧問の先生に相談したところ、誕生日の写真でいいよという助言をいただいたのでケーキにしました。

書いてて気付いたのですが、前回もケーキでしたね。

ネタ切れにも程がある。

（松尾）

青春日記

この度、吹奏楽部と新聞部兼部することになりました石橋です。今後ともちょこちょこ出てきますのでその時はよろしくお願いします。

さて一月六日に多くの方のご協力のもと吹奏楽部が定期演奏会を行うことができました。ありがとうございました。

十二月から時間もなくかなりの急ピッチで仕上げました。大成功という形で終えることができたのも部員全員の努力の結晶だと強く感じます。そしてこの演奏会が終わるということは三年生の先輩方が引退するということで寂しさも感じます。

この一年、たくさんの出会いがありました。四月には一年生が入部し、自分がついに先輩か…と感慨深い気持ちになり、五月には高総体の開会式で長崎商業高校とマーチングをさせていただくことになり、合同での練習も楽しく、本番も無事成功させることができました。十一月には鶴洋高校の吹奏楽部との合同で練習……。他にも数え切れないほどの出会いがあった気がします。来年度もたくさんの出会いを大事にしたいと思います。

ふと振り返ると、あっという間に過ぎ去った一年だなぁと齢十七にして時の流れの速さと残酷さを感じました。R先輩によれば、この世にはジャネーの法則、すなわち人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例するという法則があるとか。さてこれからは新体制、部内の最高学年として頑張っていきたいと思います。

また吹奏楽部と新聞部の兼部もがんばっていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（石橋）

語られたさまざまな想い

三年生の担任の先生にインタビュー

卒業する三年生をそばで支えてくださった三年生の担任の先生方。そんな先生方に各学級についてのインタビューをしました。

質問内容

①クラスを漢字一文字で表すと…。
②生徒の成長を感じた瞬間や出来事を教えてください。
③どんな大人になってほしいですか。
④担任になって良かったこと。

機械科 松口翔平先生

①「人」あー二十八人全員の考えが違う、個性のあるクラスだったから。とても人間らしいクラスだった。
②提出物がきちんと提出できるようになった時。卒業したいと行動ができるようになった時。
③「ありがとうございます」が自分を育てる言葉であることを知り、きちんと言えるような社会人になってくれること。
④この三年間で生徒への指導の仕方、向き合い方を考えなかった日はありませんでした。私自身が君たちに成長させてもらえたことが一番良かったことだと思います。
⑤「蛍の光」
厳粛な雰囲気の元、卒業生を最後まで送り出したいと思ったから。

◀松口先生は似顔絵希望

個性あるクラスだった

機械システム科 田中基樹先生

①「筋」ー筋肉。
②体育祭のパレード。ものづくりをする学科だと言っていたから。
③カッコいい大人。
④行事の度に前任の田川先生が来るくらい愛されていること。
⑤「夢叶う」MONGOL800

▲田中基樹先生

カッコいい大人に

電気科 西川慧先生

①「声」ー先生方から挨拶を褒められることが多かった。プライドを持って始業就業の挨拶や安全訓練の声出しをしてくれた。競技大会体育祭では全員で声を出して応援しているのも印象的だった。
②修学旅行。最終日の朝、予定時間がかなり早まったが、指定時間より更に早く集合しどのクラスより早く出発準備が整ったとき。
③他人も自分も大切にできる大人
仕事でもプライベートも縁を大切にし、自分のことも思い思いやって過ごしてほしい。
④入学式で話した「電気科は挨拶が№1だから君たちもしっかりとやろう」を最後まで貫き通してくれたこと。
⑤「道」EXILE
学生時代に何度も演奏した曲。素敵な歌詞と素敵なメロディー、コード進行が心に残っているから。

▼西川慧先生

自分も他人も大切に

工業化学科 土谷英樹先生

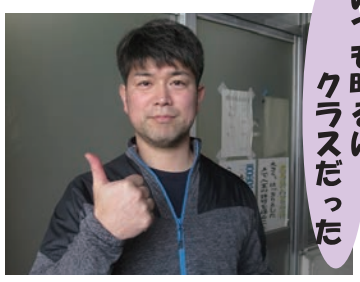
①「騒」ーずっと騒がしいクラスだったから。
②最後に追試を受ける人がいなかったこと。
③人の話を聞くことのできる人。
④生徒のことをよく知ることができた。
⑤「ヒカリへ」フランシュシュ
卒業といえばこれだと思ったから。

◀土谷英樹先生

人の話を聞くことのできる人に

建築科 藤田尚吾先生

①「明」ーいつも明るいクラスだから。
②報・連・相が徹底してできたこと。
③夢をもって夢を大切にできる大人。
④大人に対し、気遣いができたこと。
⑤「友よ」ゆず



▼藤田尚吾先生

いつも明るいクラスだった

インテリア科 佐々口剛先生

①「愛」ー行事ごとでクラスのために一丸それぞれがクラス一丸で頑張れたこと。
②インテリア科のイベントで率先して盛り上げたことや体育祭で一、二年を引っ張っていたこと。
③他人を大切にできる優しい大人。
④毎日が楽しかった。
⑤コブクロ「卒業」

▶佐々口剛先生

毎日が楽しかった

学年主任 手束昭仁先生

三年生の学年主任の手束昭仁先生にもインタビューをしました。

Q学年を漢字一字で表すと？

ー「改」
今年の三年生から行事を生徒主体で運営したり、三学期に競技大会を企画したりといろいろな改革をしてくれたから。

Q学年が成長したなと思う出来事はありますか。

ー体育祭。勝てないからがんばらないということがなく、全てのクラスが全力で取り組んでいたと感じた。

Q卒業生にどんな大人になってほしいですか。

ー自分も大切にしつつ、周りの事を考えることができる社会人になってほしい。また、困ってる人がいたら助けたり、会社の事をしっかりと考えて行動できる人になってほしい。

Q この一年間で一番の思い出を教えてください。

ー三学期の競技大会。やってみたいと言い出してくれて、自分たちでいろいろやり遂げていたから。

Q卒業生で流したい曲はありますか。

ー「春なのに」柏原芳恵
春は別れの季節でもスタートの季節でもあるので、卒業生に贈るにはぴったりかなと思った。

▲手束昭仁先生

情報技術科 山田康晃先生

①「和」
仲が良くて、平和だから。相手を否定することのない和やかなクラスだから。
②三年生の体育祭のパレード練習。また、体育祭後の打ち上げで四十人全員そろったこと。
③誰かに必要とされる人。
④四十人の貴重な高校生活に関われたこと。
⑤トウタス松本「ストレイト」
歌いだしの歌詞に生きざまが表れているから。

▼山田康晃先生

和やかなクラス

電子工学科 小林雄二先生

①「豊」
個性豊かだから。
②提出物がよく出るようになったこと。
③周りの人たちを大切にできる人。
④いろいろな個性を持つ生徒と出会えたこと。
⑤「卒業」尾崎豊
▼三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。新聞部一同、応援しています。

▲小林雄二先生

いろいろな生徒と出会えた

引退(?)編

てふ五生！！！

～四コマ、卒業します。～

※次回も私の四コマらしい

新部長のつぶやき

みなさんこんにちは。久しぶりにこのコーナーを担当します池内です。この間年越しを祝ったばかりだと思っていたのに気づけば別れのシーズン。この季節はなんとなくのさみしさとわくわく感を感じます。

まずは三年生の皆さん卒業おめでとうございます。三年生のみなさんには入学したての頃迷っていた私たちを案内してくれたりイベント時以外にもいろんな場面で私たち下級生を引っ張ってくれて感謝が尽きません。部活動でも先輩達にはとてもお世話になって感謝してもしきれません。新聞部に入部を決めたのも先輩たちがとても優しく接してくださったからです。入部後にも記事の書き方や新聞の書き方。さらにはインターンシップや修学旅行のことなど様々なことを教えてもらいました。そんな先輩たちもついに卒業。これまで約二年間一緒に活動してきた先輩たちがこれからはいないと考えるととてもさみしいです。しかし先輩たちが繋いでくれた新聞部のバトン。少し不安はありますがしっかりと受け取りたいと思います。

三年生のみなさん、これまで約二年間本当にありがとうございました。

（池内）

編集後記

三年生のみなさん卒業おめでとうございます。

みなさんがこれを読んでるということは、新聞は無事に完成したということですね。新聞部も少数精鋭（笑）でがんばってきました。これからもがんばります。みなさんもがんばってください。